

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 丸山奈穂	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>① 研究</p> <p>➤ 調査データの収集</p> <p>世界遺産の観光地化に関する基礎的研究(基盤研究(C))のためのデータを収集した。この研究の目的は、群馬県の富岡製糸場周辺地域および栃木県日光市の日光社寺周辺地域を例として、世界遺産登録に伴う地域の観光地化がどのように住民のエンパワーメントへの手段となり得るかを探ることにある。今年度は富岡市でのデータ収集を実施し、住民約600名から回収ができた。また、富岡市で同様に、女性と観光に関する研究(分担研究)の一環として、観光客対象にアンケート調査を実施し、約300名から回収ができた。</p> <p>➤ 論文の執筆、投稿</p> <p>中国系アメリカ人が中国を観光者として訪れることとその感情的な動き(emotional labor)に関する論文(博士論文に基づく)が受理された(International Journal of Culture, Tourism, and Hospitality Research)。また、外国人街の観光地化に関する論文2件を執筆し、1件が受理された(Tourism Geographies)。1件は審査を待っている段階である。</p> <p>② 教育</p> <p>➤ グループ研究の実施</p> <p>演習Iでは、昨年同様グループ研究に取り組んだ。今年度はゼミを3つのグループにわけ、研究テーマの設定から研究計画書の執筆、調査関係機関への協力依頼、調査の実施、報告書の完成までを学生が主体的に進めている。調査は、高崎市内の Pasta 店主、アジアン・オールド・バザール(栃木)の観光客、高崎経済大学学生の3つのグループを対象に行った。</p> <p>➤ 学園祭における戦略的な販売の実施</p> <p>演習I生を中心に学園祭で出店をした。毎年行っているが、本年度は特に売り上げ目標の設定とそのために必要な戦略を立て、それに基づいて販売をした。</p> <p>➤ 卒論のためのデータ収集</p> <p>演習IIでは、全員が卒論のためのデータを学外で収集した。3年次に行ったグループ研究での経験を応用し、個人ですべての作業を行うことができた。</p> <p>➤ サマリーシートの作成</p> <p>演習IおよびIIでは、読んだ文献の要点をまとめ、さらに批評を記入したサマリーシートを毎回作成提出させることにより、文献を批判的に読む姿勢、またディスカッションに準備をして臨む姿勢の向上がみられた。今年度は特に賛否が分かれる点に関して、自分ならどうするか、それはなぜか、どのような反対意見があるか等、を積極的に議論するように促した。</p> <p>➤ ディスカッション、プレゼンテーション、プロジェクトの実施</p> <p>各講義では毎回グループディスカッションを行い、学生が考え発言する能力を高めることができた。自ら挙手し発言する学生も増えてきた。また、グループでのプレゼンテーションを行い、与えられた課題のなかで、リサーチをする能力を付けた。</p>	

## 2 その他の事項

- 富岡での調査を行った際には、観光学科の学生を中心にアルバイトとして雇用し、地域の方からの信頼を得ることに努めた。

## 3 次年度以降の計画・抱負

研究面では、今年度収集した富岡でのデータに基づいて論文を執筆したい。また、日光でのアンケート調査を実施したい。教育面では、演習Ⅱにおいてはグループ研究の調査結果を報告書にまとめ、調査に協力いただいた関係機関に送付する。また、就職活動との両立できるよう学生を励ましていきたい。演習Ⅰにおいてはグループ研究の開始時期を早め、データ収集および論文執筆に十分な時間が確保できるようにしたい。講義においては、クラス内での積極的な発言を促すよう努力したい。